

## 教育産業常任委員会会議録

日時 平成30年6月5日(火)

午前10時43分

場所 城里町役場 3階 委員会室

---

### 出席委員(7名)

委員長	菌部 一 君	副委員長	片岡 藏 之 君
	杉山 清 君		小林 祥 宏 君
	阿久津 則 男 君		加藤木 直 君
	桜井 和 子 君		

### 地方自治法105条の規定により出席した者(1名)

議長 小 坪 孝 君

### 職務のため出席した者の職氏名

議 会 事 務 局 長	阿久津 雅 志
主 任 書 記	松 崎 英 明
書 記	市 村 真 紀

---

### 教育産業常任委員会次第

- 1 開 会
- 2 委員長挨拶
- 3 審議事項
  - (1) 請願第1号 黒澤止幾の生家保存に関する請願
  - (2) その他
- 4 閉 会

---

午前10時43分開会

開 会

○議会事務局長（阿久津雅志君） ただいまから教育産業常任委員会を開催させていただきます。

---

委員長挨拶

○議会事務局長（阿久津雅志君） 最初に、菌部委員長よりご挨拶をいただきたいと存じます。

○委員長（菌部 一君） 座ったまま申し上げます。委員各位におかれましては、定例会後大変お疲れの中ご出席をいただきまして、ご苦労さまです。

本日の会議は、請願1件につきまして審査をお願いするものです。慎重なる審議と委員会運営には特段のご協力をお願いし、ご挨拶といたします。

傍聴人3名を認めます。

○議会事務局長（阿久津雅志君） ありがとうございます。

---

審議事項

○議会事務局長（阿久津雅志君） ここからは菌部委員長の議事進行で会議運営をお願いいたしたいと存じます。委員長、よろしくお願いいたします。

○委員長（菌部 一君） それでは、会議に入ります。

（1）請願第1号 黒澤止幾の生家保存に関する請願を議題といたします。

事務局より説明願います。

○議会事務局長（阿久津雅志君） それでは、請願第1号 黒澤止幾の生家保存に関する請願の説明をいたします。

代表者が、錫高野1966、岡本 栄様でございます。790名の署名がついてございました。紹介議員は鯉渕秀雄議員、三村孝信議員でございます。

請願の要旨を読み上げます。

町の誇り足り得る文化財、黒澤止幾の生家が朽ち果てる寸前であるのに、生家保存の進捗状況が不透明です。早急に生家保存の実現にご尽力いただきますよう請願いたします。という内容でございます。

以上、簡単ではございますが内容のご説明といたしました。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

○委員長（藺部 一君） それでは、説明が終わりました。

ここで、ご意見をちょうだいいたしたいと思いますので、ご意見をお伺いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

阿久津委員。

○委員（阿久津則男君） 黒澤止幾に付されましては、日本最初の女性の教師ということで、この町の誇りだと思っております。また、城里町が誕生してから、それから二、三年たった後だと思いますが、黒澤止幾生誕200年の事業も行われました。私としても、この黒澤止幾の件に関しましては、町で予算をとってもPRしていくべきだと思っております。

ただ、この生家保存につきましては、4月の議会で、教育委員会の説明によれば、280万円をかけて、また詳細に調査するというようなことで、予算が可決したわけですので、ですから、またその調査委員の結果が出ておりませんので、出るまでは一議員として、それを見守るべきかなと思ひまして、今回は継続審査になるのかなと、私個人的には思っております。

以上です。

○委員長（藺部 一君） ありがとうございます。

そのほかご意見。

片岡副委員長。

○副委員長（片岡藏之君） 私も阿久津委員と同じように、今、調査費が計上されて、調査が行われるという中で、本来ならば、この請願の採択をして、それで桂、錫高野地区の観光の基点というか、そういったものにするべきものだと思うんですけども、今、調査が行われようとしている段階の中で、つくるような、採択するような方向で、継続審査というような形のほうがよろしいのかなと思うんですけども。

○委員長（藺部 一君） ありがとうございます。

そのほかに。

小林委員。

○委員（小林祥宏君） 黒澤止幾の生家保存の請願というものは、これは本来ならば先出て、調査費が可決されなきゃなんで、これ逆になっているとは思いますが、その辺で、これ生家保存というのは、そのままの状態を保って、失わないことなんだよね。保存というんだから。それだから物体が今の状態で腐って、どのようにしていればいいのか、それで、だから私は、これは復元か、修復か、それともあそこの環境の問題で、後ろの山では傾斜、崖崩れのもう指定になっているから、その辺を考えたらどうなのかな。移築とかそういうあれも、今、調査の段階だけれども。だから、ちょっと調査の答えが出てから採択というような形をとればいいのかと思って、趣旨採択にはわかっているんですがね。趣旨採択というような形で進めればいいのかと、そういう意見です。

○委員長（藺部 一君） そのほかに。

加藤木委員。

○委員（加藤木 直君） 私も議員になったばかりで、ちょっと中身が、今までの経緯もちょっとわからないんですけれども、まず2点ほど。

前にも錫高野地区で金長義郎さんという方が町長を、何年か前までやっていたんですけれども、そのころにこういう話が出たということも、ちょっと余り記憶にはないんですけれども、そのころ、議員さんだった方何人かいると思うんですけれども、そのころどうだったのかということと、それからもう一つは、あそこの、文化財になっているということなんですけれども、その建物自体が、ただいま小林委員さん言われましたように、かなり腐っているというようなことも聞いていますし、見てきてもおりますし、その中で文化財になっているのが、その建物が例えば、つくりが価値があるとか、そういうことなのか、ちょっとその辺も調査の状況を聞きながら、見ながら判断していければいいのかなということで、結果的には小林委員さんが言われたような趣旨採択のようなニュアンスの中で、どうなのかなというふうには思っております。

○委員長（藺部 一君） ありがとうございます。

私もこの案件が出てくるという話で、現場に行ってみさせてもらったんですが、建物そのものは本当に幾らよく見ても、もう朽ちているという部分においては認めざるを得ないと思うんです。

○委員（加藤木 直君） ちょっといいですか、委員長。

これは、前年度は調査関係も前年もやっているんですか。

○委員長（藺部 一君） 前年29年度で、本年30年度と31年度に分けて予算をとってありまして……

○委員（加藤木 直君） じゃ、継続ですか。

○委員長（藺部 一君） 継続、今年から本格的に調査を始めます。だからまだ……

○委員（加藤木 直君） 前年度の調査の中では、例えばその建物自体が特殊なつくりであったりとかという、そういうものは何ら出てきていないんですか。価値あるものかどうか。

○委員長（藺部 一君） 加藤木さん、その前に一度、写真かなんか撮って、資料はつくったんですよ。ただ、それでは不十分だということで、29年度だよな、30年度と31年度で予算をとって、本年度と次年度でその予算をとってあるんですよ、実は。そこで調査をして、私もその結果を踏まえてかなと、小林委員さんが言われたように、そういう考えは私的には思っております。だから、まだその結果が出ていないんですよ。だから、本当は本末転倒と言ったら怒られるかもしれないが、請願が出てきて、それを受けて調査をするというのが道筋だったのかもしれないんですが、地域の方とか支持者からはそういうふうな意見があって、予算は町長もとったのかもしれないんですが、今回、後になって請願が出ているものですから、ちょっと逆かなという気はします。私個人としてはね。

じゃ、そのほかに。

○委員（杉山 清君） 先ほど加藤木委員のほうから、いろいろ今までのいきさつがあったろうという話ありましたので、私のほう全部わかっているわけじゃないんですけども、黒澤止幾に関しては、私も桂観光組合の組合長やっていた当時、いろいろと周りの清掃とか、そういう形の中で見学に来る人、いい形で見て帰っていただきたいということで、やってきた経緯があります。その後、フォーラム21というものが立ち上がりまして、結構な期間やっていたと思うんですが、桂時代にも保存する、または反対だ、そういう形の中で、いろいろ動いてきたと思うんですよね。その後、合併後においても、そういう形の中で、誰が保存に動くのか、当時はフォーラム21が屋根のふきかえとか、そういう形、寄附とか、自分らの看板の中でやっていただいたと思うんですよね。

ただ、例えば家に価値があるとか、そういう形じゃなくて、やはりその黒澤止幾という方の人生観とか、また、日本最初の女教師だとかいう形の中で、やはり人を引きつけるところはあるんですよね。だから、ああいうふうな形の今の現状できちちゃった中で、ほかから来て見ていただくというのは、本当に議員をやっている上においても、ちょっと恥ずかしい思いだなと私は思います。

先だ、後だという問題もあるかもしれないですけども、やはり私は、先日、南会津町長選もありまして、大宅宗吉さんと交流を持っているんですが、南会津町というのは1万6,500人で、今年度予算がたしか126億ぐらい持っていたと思いました。それはなぜかというのと、一般の民家であっても、要するに保存をすると、それはカヤぶきですよ。そういう形の中で、今は水引住宅、または前沢住宅ね、前沢は要するに文化財になりました。これは保存文化財ですか。やはりその温泉とか観光だというけれども、その観光の拠点になっているんですよね。

これからは、今までは地方というと、例えば近くでは、隣の栃木県が日光とかという形ですけども、海外から人が来るときに、むしろ要するにそういうところじゃなくて、地方に行きたいと、地方の文化とかそういうところを見たいという方がすごく多いんです。ですから、やっぱり国際化の中で、それを閉ざすような方向をしていくというよりは、前向きで一步前進できるような考えを持って、そしてやっていくということが、私は大事ではないかなと思います。

○委員長（藺部 一君） ありがとうございます。

意見たくさんいただいたんですが、意見を集約していきたいと思います。

それでよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藺部 一君） では、黒澤止幾の生家保存に対する請願につきましては、採択、不採択、閉会中の継続審査とあるんですが。その中で、開会中の継続審査ということで動きもあったんですが、そのほうで賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○委員長（藺部 一君） わかりました。そうすると、これは継続審査ということで、3人の方よろしいですか。

○委員（杉山 清君） 半々いて継続、半々で。

○委員（小林祥宏君） 私は、採択というより趣旨採択。その旨はわかっているけれども、調査の上、今後、継続的な要素も入ってますけれどもね。

○委員長（藺部 一君） 私は、最初、閉会中の継続審査で挙手を求めたんですが、改めて……、継続審査ということで。

○委員（加藤木 直君） それと趣旨採択とは別。

○委員長（藺部 一君） 別。

○委員（加藤木 直君） じゃ、別に挙げたほうがいいですか。

○委員長（藺部 一君） 加藤木さんが趣旨採択を希望すればそちらで。

じゃ、改めまして、だから継続審査。

じゃ、申しわけありません。皆様のご意見の中で、継続審査と趣旨採択の2つあるわけなんですけど、最初に継続審査の賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○委員長（藺部 一君） そうすると、残りは趣旨採択ということになるんですね。わかりました。じゃ、この委員会は、黒澤止幾の生家に対する請願につきましては、趣旨採択といたします。

それで、本日決定した事項については、定例会の最終日に報告したいと思いますので、よろしくお願ひします。ありがとうございました。

次に、（2）その他について、委員の皆様からご意見を伺いたいと思いますので、よろしくお願ひします。

〔発言する者なし〕

○委員長（藺部 一君） なければ、それでは最後に、教育産業常任委員会の閉会中の所掌事務調査についてですが、最終日の日程に入れたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藺部 一君） ありがとうございます。

---

## 閉 会

○委員長（藺部 一君） それでは以上をもちまして、当委員会に付託されました案件につきまして協議が終了いたしました。

ここで閉会に当たりまして、片岡副委員長よりご挨拶をいただきます。

○副委員長（片岡藏之君） 本日はご苦勞さまでございます。本会議閉会后、早急にとい

うことで時間をいただきまして、委員会を開きました。黒澤止幾の保存の趣旨採択という  
ことで決まりましたので、ひとつ今後ともよろしくお願ひしたいと思ひます。

本日はどうもご苦勞さまでございました。

午前 1 1 時 0 2 分閉会